

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	作品制作4	
科目基礎情報							
開設学科	ゲームクリエイター科四年制		コース名	ゲームプログラマーコース		開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	45時間
単位数	1単位					授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	佐野 雅博			実務経験の有無・職種	無		
学習目的							
ゲーム制作を実際に行うことによりゲーム制作に必要なスキルを習得する。ゲームの企画を発想し企画書にまとめる。その後プログラマーはプログラミングを行いゲームの実装を行う。これら一連の経験を通じ、ゲーム作品を一通り完成させることができるようになることを目指す。							
到達目標							
チームを組むことでゲームを企画し制作して完成させる。完成までの流れを体験することでゲーム制作に必要なプログラミングスキルだけでなくチームで活動することにより対人コミュニケーションスキルも身に付ける。							
教育方法等							
授業概要	教員側で指定されたチームでチーム制作を行う。チーム制作ではゲーム制作に必要なプログラミングスキルはもちろんデータの共有方法（バージョン管理）から授業以外でのコミュニケーション方法までゲーム制作に必要なスキルについて学ぶ。						
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	90%	試験と課題を総合的に評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～12回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ゲーム制作1			チームビルド、各メンバーの役割を確認しゲーム制作の体制を確立する			
2回	ゲーム制作2			制作するゲームのネタを出すためにゲームを研究し理解する			
3回	企画プレゼンテーション実施			各チームが制作するゲーム作品をほかの学生にプレゼンテーションを実施する			
4回	ゲーム制作3			a版という位置付けで1ステージ分のプロトタイプ作品の制作を行う			
5回	ゲーム制作4			a版という位置付けで1ステージ分のプロトタイプ作品の制作を行う①			
6回	ゲーム制作5			a版という位置付けで1ステージ分のプロトタイプ作品の制作を行う②			
7回	制作途中作品の講評会を実施			b版のゲームをほかの学生や教員にプレイしてもらい感想を聞くなど完成具合を披露する			
8回	ゲーム制作7			マスター版としてゲームの完成を目指す①			
9回	ゲーム制作8			マスター版としてゲームの完成を目指す②			
10回	ゲーム制作9			マスター版としてゲームの完成を目指す③			
11回	ゲーム制作10			マスター版としてゲームの完成を目指す④			
12回	完成プレゼンを実施			完成プレゼンを実施して完成したゲームを披露する			